

1. 短期展望

(p. 1)

- ①[イラクに政治生命かけるブッシュ]
- ②[シュレーダー、ロスチャイルド銀行のアドバイザーに]
- ③[米ハーバード大学のユダヤ・ロビー・レポート]
- ④[日本の景気回復は本物である、しかし…]

2. 展望①：ある暗い未来シナリオ

(p. 5)

▲人口減少で100年後の日本はまちがいなく小国になっている。今日のスウェーデン、デンマークのような豊かな小国ならいい。おそらくは活力のない、うらぶれた国、いつれかの大国の属国であろう。

▲更に憂うべき事がある。50～100年後の世界では、近代的価値観が失われ、世界は前近代的秩序の支配する野蛮な世界になっているだろう。日本だけではない。近代化をとげた先進諸国全体の人口が激減しつつあるのだ。

3. 展望②：米露主導の国際核燃料供給・

(p. 15)

管理体制の構築

イランの核開発問題の背後には、露プーチン大統領が主導し、米ブッシュ大統領も支持する国際的な核燃料供給・管理体制の構築構想がある。この米露主導による国際的な核燃料供給・管理の動きが、近い将来、核燃料の国内自給体制の構築を目指す我が国の原子力政策の方向性が、この米露主導による国際的な核燃料供給・管理の動きと如何に整合性を取っていくのか、或いは衝突するのか、今後の行方に注目である。